

募集要項

第 12 回ペアレントトレーニングを応用した 特別支援教育スキルアップ・プログラム

—講義受講のみの参加または講義と事例検討参加—

1 目的

教室の中にはいろいろな子どもたちがいます。「教室からいなくなる」、「わすれものが多い」、「休み時間に友だちとけんかばかりしている」、「こちらから何度注意しても伝わらない」など、子どもが周囲にとって困った行動をしてしまうとき、無理してやめさせようとしてもなかなかうまくいかず途方にくれたことはありませんか？

実は、このようにくり返される行動には、子ども自身も気がついていない理由や意味が隠れています。理由や意味があるからこそ、それらの行動だけを止めようとしてもなかなかうまくいきにくく、お互いが苦しくなってしまうです。

行動を観察し記録していくと、子どもがどんな思いでその行動をしているのかが見えてきて、子どもと支援者、両者の心がほっと楽になることがあります。そのうえで、それに代わる適切な行動を、子どもにあったペースで身につけていけるよう、ていねいに支援していくと、いつのまにか子ども叱る機会が減り、ほめる場面が増えていきます。

この行動の観察・記録・理解の枠組みの一つが応用行動分析学であり、その発展形に私たちが取り組んできたペアレントトレーニングという支援の方法があります。

ペアレントトレーニングでは、子どもの行動の改善を目ざして親(保護者)と共に一番改善したい行動を具体的に決め、それを親(保護者)が家庭で観察・記録します。その記録を手がかりに行動の意味や今後の対応をいっしょに考え、試していきます。

私たちはこのようなペアレントトレーニングの取り組みを続ける中で、家庭だけでなく、保育・教育現場における特別支援教育にも応用可能だと考えようになりました。実際に私たちは、現場の先生方とともにそれを実践し、効果を上げてきました。これまで蓄積してきた多くの考えを先生方にお知らせし、また先生方がお持ちの考えを共有することで、さらなる特別支援教育のスキルアップができればと考えています。

本プログラムは現場の先生方のためのリカレント教育としての意義ももっています。

2 受講について

今年度は講義のみの参加も可能です。

今回は、以下のように「A 講義受講のみ希望」あるいは「B 講義と事例検討の両方受講希望」の2つの受講形態となっています。A、B の受講日は同じですが受講時間が異なります。ご注意ください。

なお、時間は若干ずれる場合があります。ご了承ください。

A 講義のみ受講希望者(18:30～19:30)

B 講義と事例検討受講希望者(18:30～21:00)

3 スケジュール・募集人員

① 期間 平成 30 年 6 月 1 日(金)

6 月 15 日(金)

6 月 29 日(金)

7 月 13 日(金)

7 月 27 日(金)の 5 回

② 時間 18:30～21:00(受付 18:00～) * A の方は前半で終了します。

- ・ 前半 約 1 時間:講義
- ・ 休憩 約 10 分
- ・ 後半 約 1 時間 30 分:事例の共有、検討

③ 募集人員

- ・ 40名程度(A 講義のみ20名, B 講義と事例検討20名)
- ・ 子どもの保育・教育、それらの支援などに携わっている人

3 会場

- ・ 〒825-8585 福岡県田川市伊田 4395 番地
- ・ 福岡県立大学附属研究所1階 大セミナー室
<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/access.html>
<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/welfare/map.html>

4 参加費・テキスト代

・ 参加費

- ・ A 講義のみ受講の方 ￥3,000
- ・ B 講義と事例検討受講の方 ￥5,000
- ・ テキスト代 ￥2,200 (著者割引)*

* テキストとして「ペアレントトレーニング実践ガイドブック」(あいり出版 ￥2,808)を使用します。既にお持ちのかたは購入の必要はありません。ご希望の方は応募時にお申し付けください。

5 申し込み方法

- ① 電子メール、ファックスまたは封書をご用してください。
- ② 電子メールの場合は表題に「特別支援教育スキルアップ・プログラム受講希望」と**必ず**ご記入ください。
- ③ メール、ファックス、封書には、以下の内容をご記入ください。
 - 1) 希望コースの選択 A(講義のみ)、B(講義と事例検討)
 - 2) (返信を希望される送付先の)郵便番号・住所
 - 3) 氏名
 - 4) 昼間に連絡がつく電話番号
 - 5) 勤務先と担当学年(幼稚園・保育園の場合は担当年齢)
 - 6) 応募理由(100 字程度)
 - 7) テキストの申し込みの(有・無)
* 以下は B(講義と事例検討)コースを選択した方のみ記入してください。
 - 8) 取り組みたい事例について(有・無)
 - 9) 取り組みたい事例の概要 *提供された事例と一緒に検討することがあります。

以上を明記のうえ、お申し込み下さい。

*事例提供希望者が多い場合は、全ての事例を取り上げる事はできませんが、他の事例を聞き、現場で試してみることでご自身の事例に応用可能だと考えています。ご了承ください。

6 申し込み・問い合わせ先

〒825-8585

福岡県田川市伊田 4395 番地 福岡県立大学生涯福祉研究センター

特別支援教育スキルアップ・プログラム 中藤広美 宛

メールアドレス lwrc1@fukuoka-pu.ac.jp (小文字のエル・ダブリュウ・アール・シー・数字のイチ)

TEL 0947-42-2118(代) FAX 0947-42-2109

7 選考方法と通知

- ① 応募者多数の場合は、応募理由を参考に受講者の選考をします。
 - 1) 保育・教育現場等で子どもの行動を観察・記録できる人
 - 2) 1)の方を支援できる人を、優先いたします。
- ② はがきにて決定の通知を 5 月 24 日(木)頃までに行います。選考にもれた人にも、その旨、通知いたします。
※受講申込者よりご提供いただく個人情報、今後の本講座の案内、改善を目的とした統計資料の作成のために使用させていただきます。

8 申し込み期間 平成 30 年 4 月 27 日(金)～5 月 20 日(金)

9 主催

福岡県立大学附属研究所生涯福祉研究センター

特別支援教育スキルアップ・プログラム スケジュール(予定)

		18:30	19:30		21:00
	月日	10分	講義と質疑応答 50分	休憩 10分	グループワーク 80分
1回	6月1日(金)	事務連絡	・講義:ペアトレの実際と特別支援教育への応用 ・質疑応答		・グループワーク ・自己紹介 ・困ったことの共有 など
			講義と質疑応答 50分	休憩 10分	グループワーク 90分
2回	6月15日(金)	・講義:観察と記録の仕方 ・質疑応答			・目標行動の設定 ・記録の仕方の検討
3回	6月29日(金)	・講義:環境の整え方と手助けの仕方 ・質疑応答			記録に基づいた検討
4回	7月13日(金)	・講義:困った行動を減らし、望ましい行動を増やすには ・質疑応答			記録に基づいた検討
5回	7月27日(金)	・事例発表会 ・質疑応答 * 適宜休憩			

講義内容の順番が入れ替わる可能性もありますのでご了承ください。